

神奈川シニア連合

機関紙

あゆみ

2025年 10月20日(月) 第113号

■発行 行 神奈川県退職者連合
 ■発行責任者 東谷裕明
 ■連絡先 〒231-0023
 横浜市中区山下町24-1 連合神奈川内

【TEL】045-211-1133 【FAX】045-201-8866 【E-mail】Senior@rengo.or.jp

会員拡大、高齢者の福祉の充実

社会貢献活動などに全力を挙げる



幹事会は、高木信行幹事(自動車総連)の関会・議長就任のあいさつで開会。鈴木会長は「(1)公明党の政権離脱で①日本の将来を見据えた政治。②物価高をどうするのかなど、政局の行方に関心を持つ。③トランプ大統領の一言ひとことが世界での様々な問題を起しているが、イスラエルとハマスの停戦、ロシアとウクライナの和平に注視した

神奈川シニア連合は、10月15日(水)15時00分から連合神奈川会議室において第6回幹事会を開催し、第34回総会議案書を作成するとともに、総会役員などについて確認しました。

「フードバンクかながわ」へ

ボランティア基金7万円寄付

2025年度の神奈川シニア連合ボランティア基金の寄付先は、第5回幹事会(9月10日)において「フードバンクかながわ」に決定しました。

寄付金は、10月10日(金)13時00分から「フードバンクかながわ」において、鈴木会長から「ボランティア基金は、神奈川シニア連合の仲間が、1年間コツコツとカンパしたものである。困窮した方々の役に立てるよう使用願いたい」と一言添え三枝事務局長に手渡しました。そして、同行した五役7名は、15時00分まで寄贈食品の検品・仕分け作業を行いました。



幹事会は、高木信行幹事(自動車総連)の関会・議長就任のあいさつで開会。鈴木会長は「(1)公明党の政権離脱で①日本の将来を見据えた政治。②物価高をどうするのかなど、政局の行方に関心を持つ。③トランプ大統領の一言ひとことが世界での様々な問題を起しているが、イスラエルとハマスの停戦、ロシアとウクライナの和平に注視した

なり、会員拡大に向け加齢別全体で取り組む。②高齢者福祉の充実に向け「政策制度要求と提言」や自治体への「医療・介護制度の充実」等に向けた要請書の提出を行う。③社会貢献活動として「フードバンクかながわ」でのボランティア活動を継続するなどを柱に作成しました。

「フードバンクかながわ」

ボランティアへの参加109人

ボランティア研究委員会(専門員会)加藤照雄委員長は、9月9日(火)14時00分から連合神奈川会議室において2025年度のボランティア活動の結果を確認するとともに、ボランティア基金の寄付先について検討し、第5回幹事会に提起することとしました。

加藤照雄委員長は「(1) 本年は、『フードバンクかながわ』で109人が寄贈食品の検品・仕分け作業のボランティアを実施した。ご協力に感謝する。(2) 本会議では、昨年の産別・単組から送付されたのボランティア基金63,000円などを有効に活用してもらえ、局長から(1)2025年度のボランティア基金の送金状況。(2)2025年度の『フードバンクかながわ』の『米1合運動』を取り組み、37・14kg寄贈することともに、メーデーやスポーツ大会などに参加した役員・会員が食品を持参したなどの報告があり、全体で確認しました

続いて、佐藤止美事務

わ」でのボランティア活動の実施日と参加者は、109人で支払った旅費の総額は、149,780円。(3)フードドライブでは、情報労連退職者の会が『米1合運動』を取り組み、37・14kg寄贈することともに、メーデーやスポーツ大会などに参加した役員・会員が食品を持参したなどの報告があり、全体で確認しました

そして(1)2025年度のボランティア基金の寄付先について論議し「フードバンクかながわ」に7万円寄付することを幹事会に提起する。(2)2025年度ボランティア基金の取り組みは、産別・単組で取り組んだカンパ金を10月3日(水)までに神奈川シニア連合の口座に振込む

又は持参する。(3)2026年度のボランティア活動も「フードバンクかながわ」で食品の検品・仕分け作業を取り組む。(4)産別・単組からのボランティア活動・社会貢献活動への要請に協力する。(5)新たなボランティア活動の実施を引き続き検討するなどについて意思統一しました。

2025年9月末組織実態調査

会員数は前年度比1,086会員減

第44回(通算)組織強化・財政検討委員会(専門員会)中村隆雄委員長は、10月8日(水)連合神奈川会議室において2025年度組織実態調査の結果、2026年度の会員拡大の取り組み、今後の財政問題などについて論議しました。

中村隆雄委員長は、「(1)会員拡大の取り組みは、定年延長などの雇用環境の変化、会社の統合・合併、機構改革や希望退職の実施などで極めて厳しい現状にある。(2)2026年には、連

合の新会計制度が導入され、交付金への影響も想定される。本日の会議で積極的な論議を願う」とあいさつ。

続いて小野久二男事務局長から(1)2025年9月末の組織実態調査結果

昨年比1,086会員が減少し、25,153会員となった。(2)2026年の会員拡大に向けた取り組みは、①産別・単組は、現役役員と連携・協力し、退職時は握と加入説明を精力的に行

う。(2)連合神奈川に退職者会未組織の産別に組織化方針を提起するよう指導を願う。(3)連合の新会計制度が2026年から始まる。連合神奈川からシニア連合への交付金減が想定され①2025年度から役員を5人減。(2)2025年から幹事会の開催をワークピア横浜から連合神奈川会議室に変更。(3)神奈川シニアの集いや施設見学後の交流会費の補助の見直しを実施した。(4)今後も、経費節減に努める。(5)周年事業の記念誌発行を5年から10年のサイクルに変更などの提起があり、論議・検討し、内容を第6回幹事会に報告することとしました。

